

TOUCH COMPUTER

TC201

クイックスタートガイド

MN-005651-02JA Rev. A



Zebra Technologies | 3 Overlook Point | Lincolnshire, IL 60069 USA
zebra.com

2026/07/30

Zebraのワードマークおよびロゴは、Zebra Technologies Corpの商標であり、世界の多数の法的管轄区域で登録されています。他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。©2026 Zebra Technologies Corp.および／またはその関連会社。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: zebra.com/informationpolicy.

著作権および商標: zebra.com/copyright.

特許: ip.zebra.com.

保証: zebra.com/warranty.

エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約: zebra.com/eula.

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

モデル番号

このガイドは、次のモデル番号に適用されます:

- ・ TCW010 (WLAN)
- ・ TCW011 (WLAN)
- ・ TCW01G (WWAN)
- ・ TCW01C (WWAN)
- ・ TCW01D (WWAN)
- ・ TCW01R (WWAN)

TC201の開梱

このセクションでは、TC201の開梱方法について説明します。

1. デバイスを覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、輸送用の箱を保管しておきます。
2. 次のアイテムが揃っていることを確認します。
 - ・ TC201タッチコンピュータ
 - ・ PowerPrecision リチウムイオンバッテリー
 - ・ 規制ガイド
3. 機器に破損がないかどうかを確認します。不足または破損している機器がある場合は、ただちにグローバルカスタマーサポートセンターにご連絡ください。
4. デバイスを初めて使用する前に、ディスプレイ、カメラウィンドウを覆っている搬送保護フィルムを剥がしてください。

デバイスの機能

このセクションでは、TC201タッチコンピュータの機能について説明します。

図1 正面図と側面図

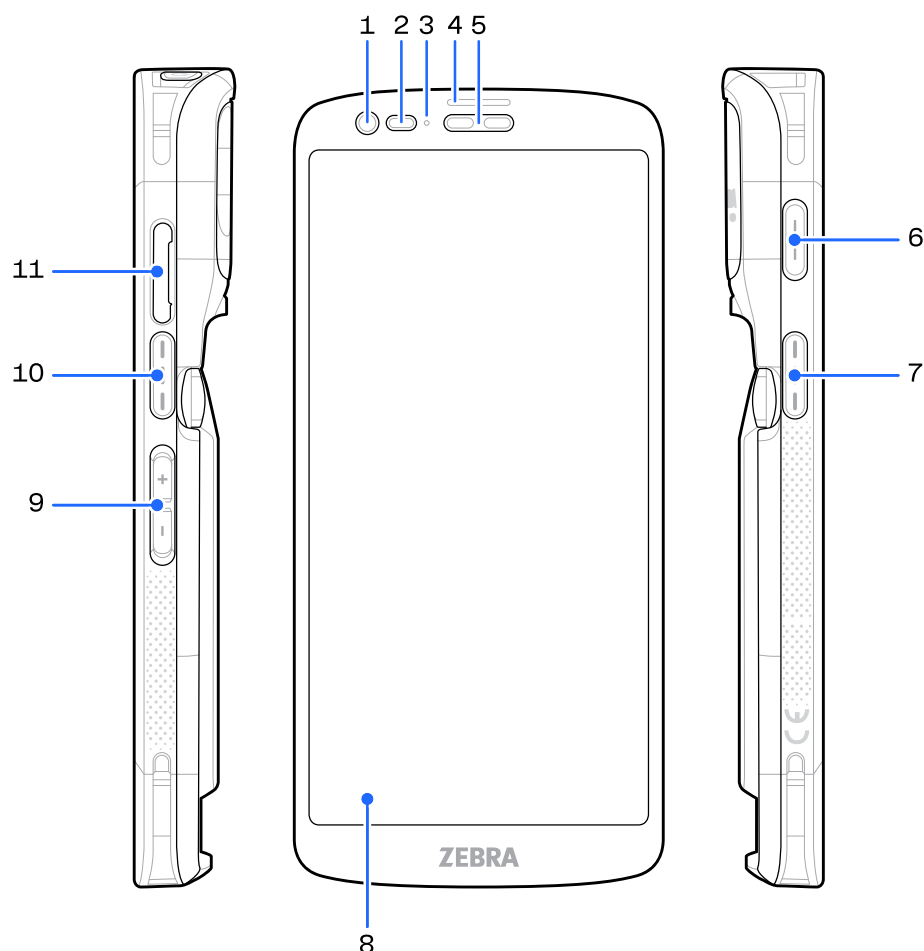


表1 正面図と側面図

番号	項目	説明
1	5MP 前面カメラ	写真やビデオを撮影します。
2	近接／光センサ	ディスプレイバックライトの輝度を制御するために、近接および周辺光を判別します。
3	充電／通知LED	充電中のバッテリー充電状態とアプリケーションから生成された通知を示します。
4	データ収集LED	データ収集のステータスを示します。
5	スピーカ／レシーバ	ハンドセットモードとスピーカフォンモードでオーディオを再生します。
6	プログラム可能ボタン	プッシュ ツーク通信をサポートします。プッシュ ツーク VolP通信に対して規制上の制限がある場合 ¹ 、このボタンは他のアプリケーションで使用できるように設定できます。
7	スキャナボタン	データ収集を開始します（プログラム可能）。

表1 正面図と側面図 (Continued)

番号	項目	説明
8	タッチスクリーン	デバイスの操作に必要な情報が表示されます。
9	音量上／下ボタン	オーディオの音量を上げ下げします (プログラム可能)。
10	スキャナボタン	データ収集を開始します (プログラム可能)。
11	カードホルダー	SIMカードやmicroSDカードを入れます。
¹ パキスタン、カタール		

図2 背面図と上面図

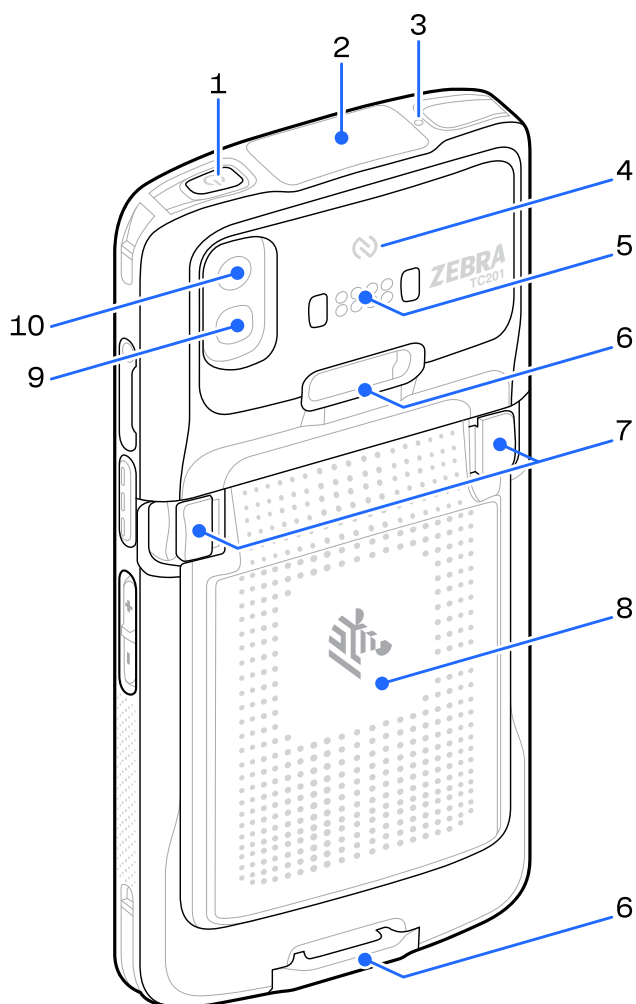


表2 背面図と上面図

番号	項目	説明
1	電源ボタン	ディスプレイをオン／オフします。長押しすると、本デバイスのリセットまたは電源オフが行えます。
2	スキャナ読取窓	イメージャを使用したデータ収集に使用します。
3	マイク	オーディオの音量を上げ下げします (プログラム可能)。
4	NFCアンテナ	他のNFC対応デバイスと通信できるようになります。
5	8ピンI/Oコネクタ	データ入力と出力を有効にします。
6	ハンドストラップマウント	ベーシックハンドストラップアクセサリ用の取り付けポイントになります。
7	バッテリーリリースラッチ	押してバッテリーを取り出します。
8	PowerPrecisionリチウムイオンバッテリー	デバイスに電力を供給します。
9	カメラフラッシュ	カメラのフラッシュや懐中電灯として使用します。
10	16MP 背面カメラ	写真やビデオを撮影します。

図3 底面図

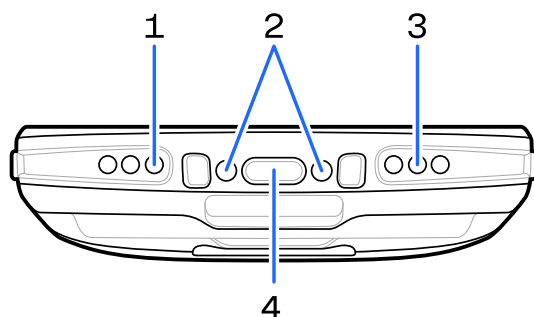


表3 底面図の機能

番号	項目	説明
1	マイク	ハンドセットモードで音声通信を行います。
2	クレードル充電端子	クレードルとアクセサリを介したデバイス充電に使用します。
3	スピーカー	ビデオ、音楽を再生するためのオーディオ出力を提供します。スピーカフォンモードでオーディオを再生します。
4	USB-C コネクタ	ケーブルとアクセサリを介したUSBホスト、クライアント通信、デバイスの充電に使用します。

デバイスのセットアップ

このセクションでは、デバイスをセットアップして、スムーズかつ迅速に使用を開始する方法について説明します。

1. マイクロセキュアデジタル (SD) カード (オプション) を取り付けます。
2. 2 枚の SIM カードまたは 1 枚の SIM カードと micro Secure Digital (SD) カードを取り付けます。
3. バッテリーを取り付けます。
4. 本デバイスを充電します。
5. デバイスの電源をオンにします。

SIMカードの取り付け

このセクションでは、TC201 に SIM カードを取り付ける手順について説明します。

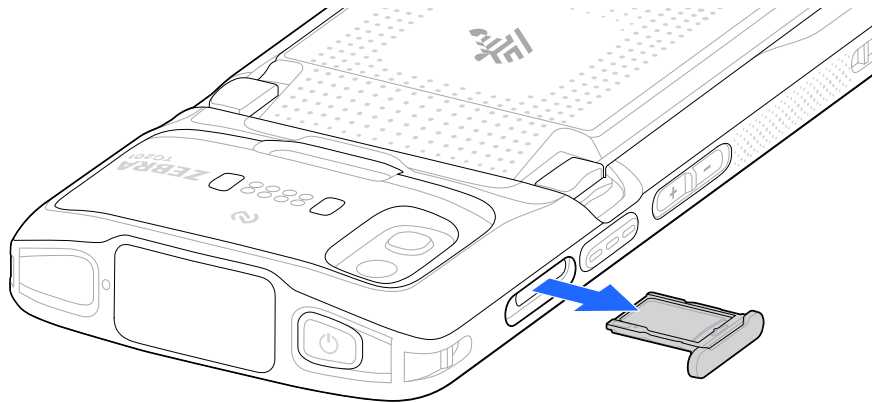


注: 必ず nano SIM カードを使用してください。

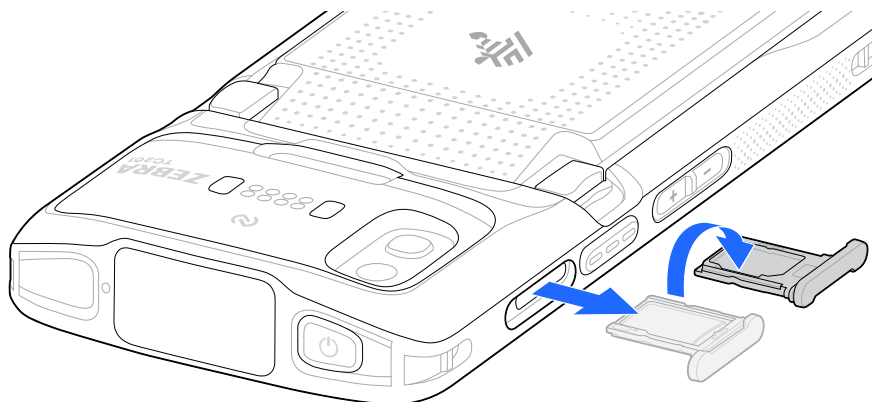


注意: microSD カードを損傷しないように、静電気放電 (ESD) に関する注意事項に従ってください。適切な ESD 予防策には、ESD マットでの作業、および作業者が適切に接地されていることの確認が含まれますが、これらに限定されません。

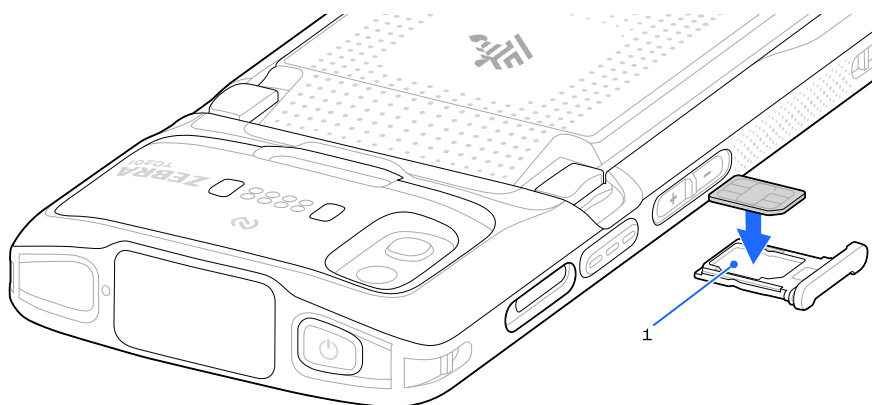
1. デバイスの電源をオフにします。
2. カードホルダーをデバイスから引き出します。



3. カードホルダーを裏返します。



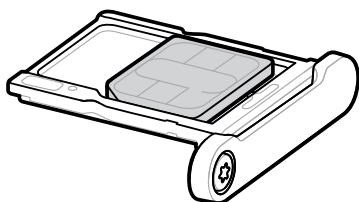
4. 接点が上向きになるようにnano SIMカード (1) を挿入します。



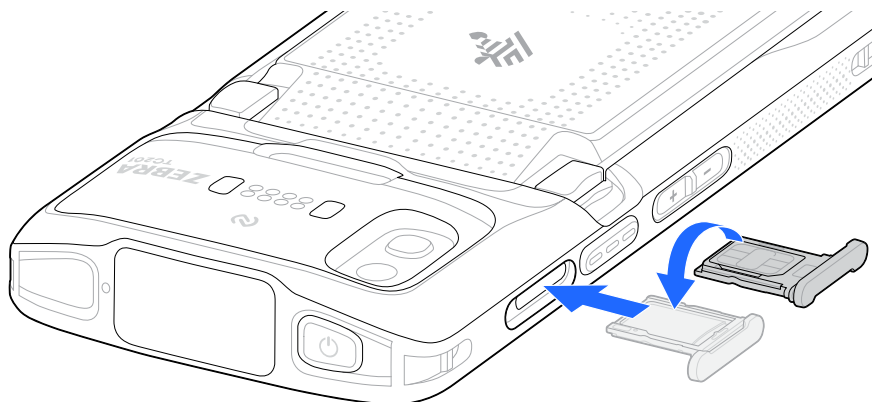
注: カードをカードホルダーに押し込み、しっかりと装着します。



注: 2 枚の SIM カードを使用している場合は、カードホルダーを裏返し、2 枚目の SIM カードを microSD カード スロットに挿入し、カードホルダーをデバイスに挿入します。



5. カードホルダーを裏返して、デバイスに挿入します。



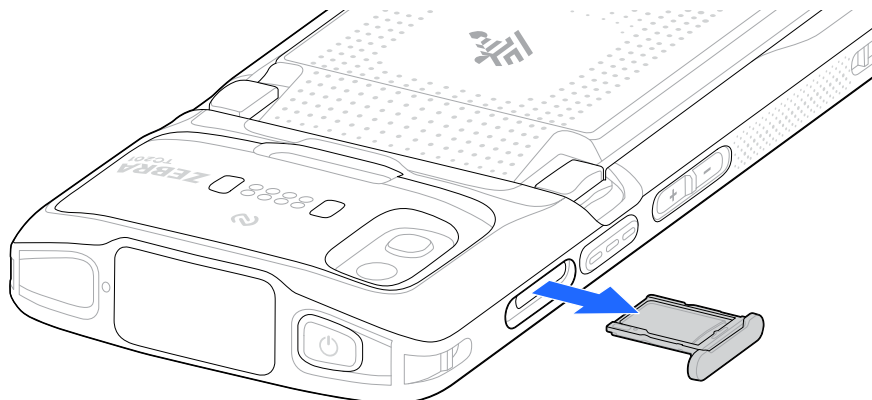
microSDカードの取り付け

このセクションでは、TC201 に microSD カードを取り付ける手順について説明します。

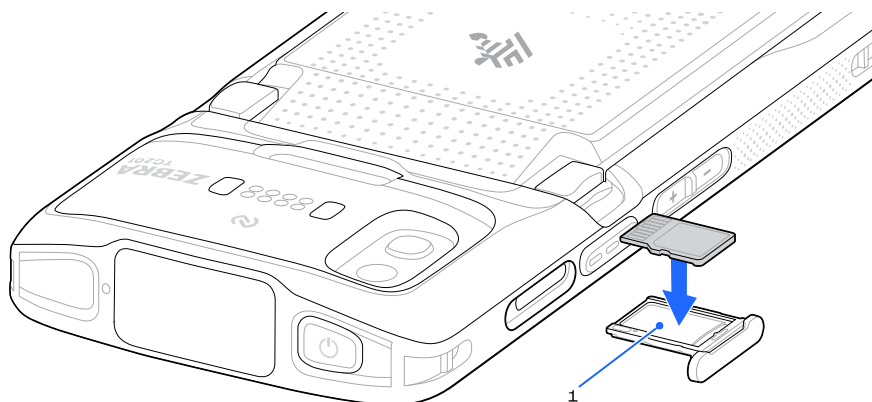


注意: microSDカードを損傷しないように、静電気放電（ESD）に関する注意事項に従ってください。適切な ESD 予防策には、ESD マットでの作業、および作業者が適切に接地されていることの確認が含まれますが、これらに限定されません。

1. デバイスの電源をオフにします。
2. カードホルダーをデバイスから引き出します。



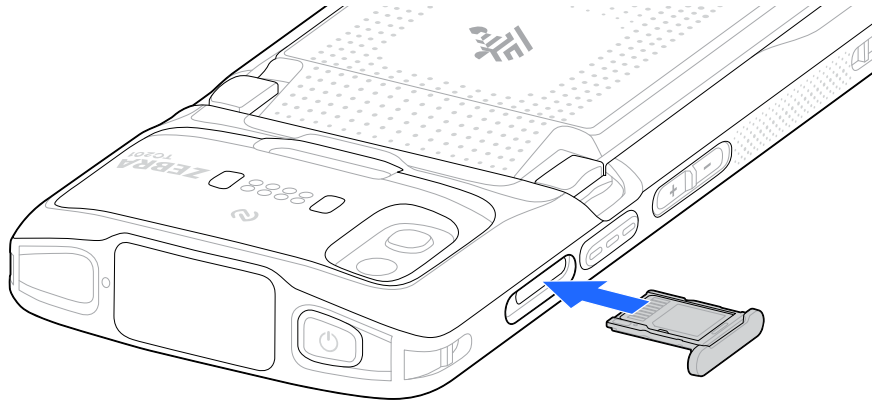
3. 端子面を上向きにして、microSDカード（1）をカードホルダーに取り付けます。





注: カードがカードホルダーに押し込まれ、正しくセットされていることを確認します。

4. カードホルダーをデバイスに戻します。



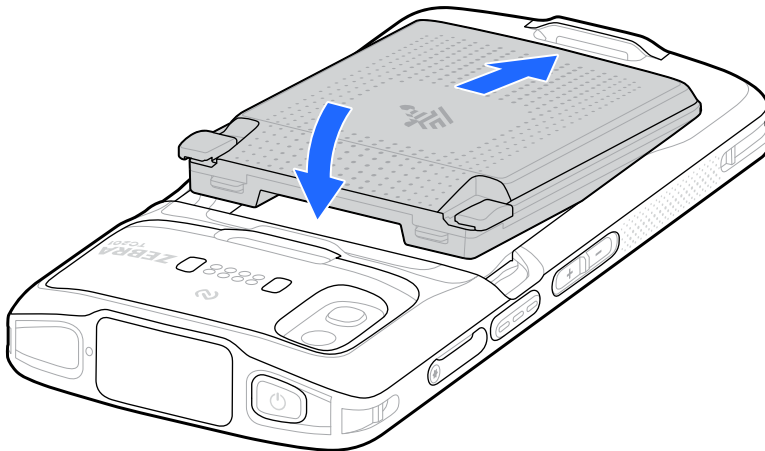
バッテリーの取り付け

このセクションでは、デバイスにバッテリーを取り付ける方法について説明します。



注: ユーザーが本デバイス（特にバッテリー受け）に対して、ラベル、資産タグ、刻印、およびステッカーなどの改変を加えると、本デバイスまたはアクセサリの意図された性能が損なわれる可能性があります。防水防塵性能（保護等級（IP））、衝撃性能（耐落下および転倒）、機能、耐熱性などの性能レベルが影響を受けることがあります。バッテリー受けにラベル、資産タグ、刻印、ステッカー、またはその他のマークなどを付けないでください。

1. バッテリーを、デバイスの背面のバッテリー収納部に挿入します (バッテリーの下側を先に入れます)。



2. 両方のバッテリーリリースラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー収納部に押し下げます。

eSIMのアクティブ化

このセクションでは、eSIMのアクティブ化について説明します。



注: eSIMを追加する前に、キャリアに連絡してeSIMサービスとそのアクティベーションコードまたはQR Codeを入手してください。

1. デバイスで、取り付けられているSIMカードを使用して、Wi-Fiまたは携帯電話のデータ通信を介して、インターネット接続を確立します。
2. 参照先 **設定 > ネットワークとインターネット**.
3. **SIMs**をタップします。
 - ・ SIMカードがまだインストールされていない場合は、**モバイルネットワーク**画面が表示されます。
 - ・ SIMカードがすでに取り付けられている場合は、**+さらに追加**をタップします。**モバイルネットワーク**画面が表示されます。
4. 選択:
 - ・ **手動でコードを入力**を選択して、アクティベーションコードを入力します。
 - ・ **スキャン**を選択して、QR Codeをスキャンし、eSIMプロファイルをダウンロードします。
 Confirmation（確認）ダイアログボックスが表示されます。
5. **OK**をタップします。
6. アクティベーションコードを入力するか、QR Codeをスキャンします。
7. **次へ**をタップします。

Confirmation（確認）ダイアログボックスが表示されます。
8. **アクティブ化**をタップしてから**完了**をタップします。

これでeSIMがアクティブになります。

eSIMの無効化

eSIMを一時的にオフにし、後で再度アクティブ化します。

1. デバイスで、取り付けられているSIMカードを使用して、Wi-Fiまたは携帯電話のデータ通信を介して、インターネット接続を確立します。
2. タップ **設定 > ネットワークとインターネット > SIM**.
3. **ダウンロードしたSIM**セクションで、無効にするeSIMの名前をタップします。
4. **このSIMを使用**スイッチをタップして、eSIMをオフにします。

Confirmation（確認）ダイアログボックスが表示されます。
5. **オフにする**をタップします。

eSIMが無効になります。

eSIMプロファイルの消去

eSIMプロファイルを消去すると、デバイスから完全に削除されます。



注: デバイスからeSIMを消去した後は、再び使用することはできません。

1. デバイスで、取り付けられているSIMカードを使用して、Wi-Fiまたは携帯電話のデータ通信を介して、インターネット接続を確立します。
2. タップ **設定 > ネットワークとインターネット > SIM**.

3. ダウンロードしたSIMセクションで、eSIMの名前をタップします。
4. eSIMを消去をタップします。
このeSIMを消去しますか。メッセージが表示されます。
5. 消去をタップします。
これでデバイスからeSIMプロファイルが消去されます。

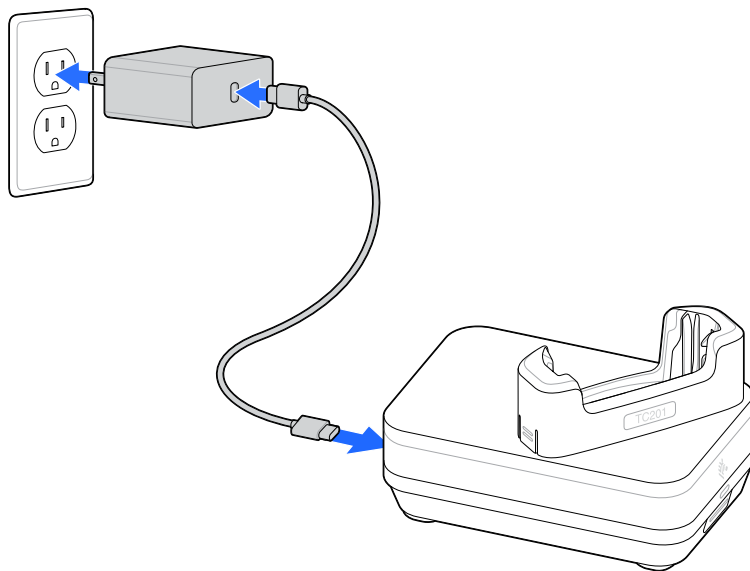
デバイスの充電

このセクションでは、デバイスの充電について説明します。

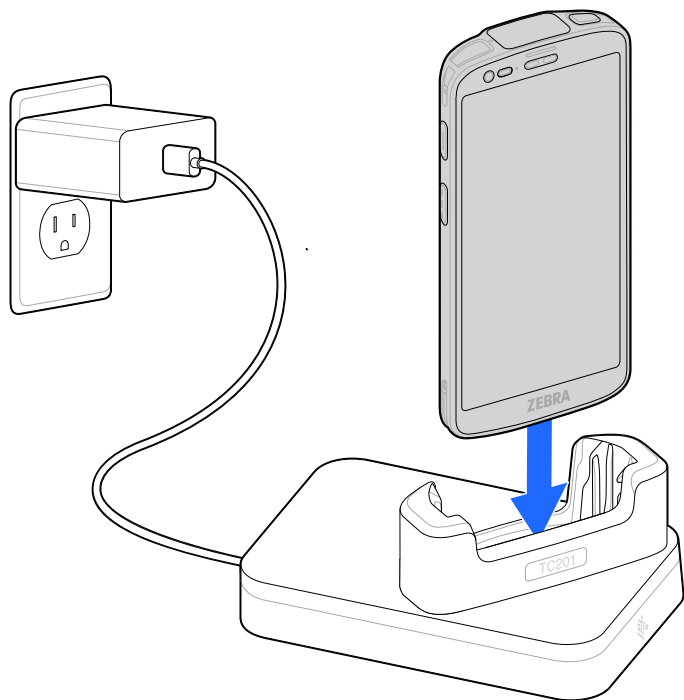


注意: 『TC201製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

1. メインバッテリーを充電するには、充電アクセサリを適切な電源に接続します。



2. デバイスをクレードルにセットするか、ケーブルを接続します。デバイスの電源がオンになり、充電が開始されます。充電中は、充電／通知LEDが黄色で点滅し、充電が完了すると緑色で点灯します。



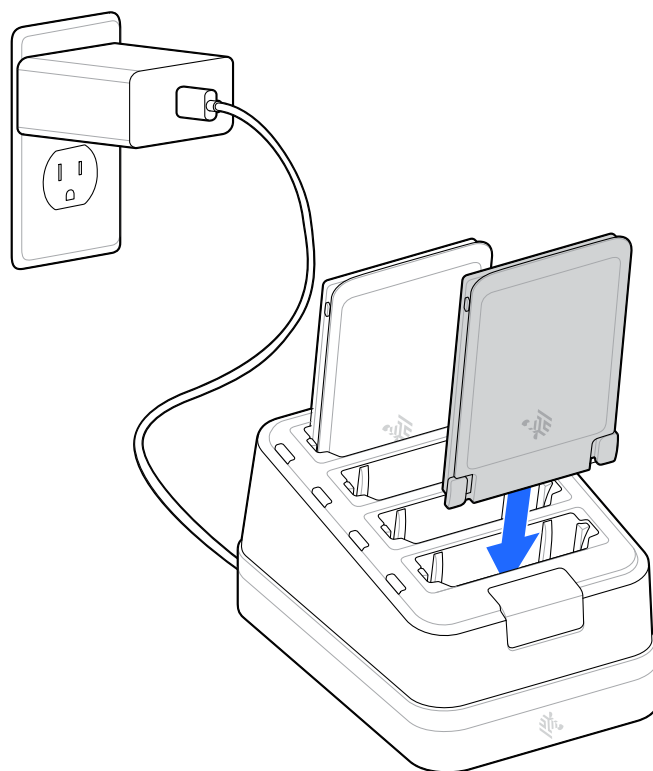
デバイスの充電／通知LEDは、デバイスのバッテリー充電状態を示します。充電の詳細は次のとおりです。

- ・ **標準バッテリー**：約1時間20分で80%充電されます。
- ・ **15倍大容量バッテリー**：約1時間50分で80%充電されます。
- ・ **2倍大容量バッテリー**：約2時間40分で80%充電されます。

予備バッテリーの充電

このセクションでは、予備バッテリーの充電について説明します。最適な充電結果を得るには、Zebraの充電用アクセサリおよびバッテリーのみを使用してください。

1. 予備バッテリーを予備バッテリースロットに挿入します。



2 バッテリーが正しく装着されていることを確認します。

バッテリーは、標準バッテリーの場合は約 3 時間、1.5 倍拡張バッテリーの場合は 4 時間、2 倍拡張バッテリーの場合は 6 時間で、完全に空になった状態から 90% まで充電されます。

充電の表示

充電／通知LEDは充電ステータスを示します。

表 4 充電／通知LEDの充電インジケータ

状態	LED	表示
オフ	○	デバイスは充電されていません。デバイスがクレードルに正しくセットされていないか、電源に接続されていません。充電器／クレードルに電力が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (4秒に1回点滅)	●	デバイスが充電中です。
緑色点灯	●	充電が完了しました。
赤色点灯	●	デバイスは充電中であるかフル充電されていますが、バッテリーの寿命が近づいています。

表4 充電／通知LEDの充電インジケータ (Continued)

状態	LED	表示
黄色で速く点滅 (1秒に2回点滅)		充電エラー。次のような場合に、この状態になります。 ・ 温度が低すぎるか、または高すぎる。 ・ 充電完了までの時間が長すぎます (通常は 12 時間)。
赤色の速い点滅 (1秒に2回点滅)		充電エラーですが、バッテリーの寿命が近づいています。例: ・ 温度が低すぎるか、または高すぎる。 ・ 充電完了までの時間が長すぎます (通常は 12 時間)。

充電時の温度

バッテリーの充電は、5～40℃ (41～104°F) の温度で行います。デバイスまたはクレードルは常に、安全かつインテリジェントにバッテリー充電を実行します。高温時には、バッテリーを許容温度に保つために、デバイスまたはクレードルのバッテリーの充電が、短時間で有効と無効に交互に切り替わる場合があります。温度異常によって充電が無効になった場合は、デバイスとクレードルのLEDがエラー表示になります。

充電アクセサリ

デバイスおよび/またはバッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。



注意: 『TC201製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

デバイスおよび/または予備バッテリーを充電するには、次のアクセサリのいずれかを使用します。

表5 充電および通信

説明	部品番号	充電中		通信	
		バッテリー(デバイス内)	予備バッテリー	USB	Ethernet
1スロット充電クレードル	CRD-TCVTB-1D/CRD-TCVT-1D	あり	なし	なし	なし
1スロットEthernet充電クレードル	CRD-TCVT-1DE/CRD-TCVTB-1DE	あり	なし	あり	あり
1スロットのデバイスと予備バッテリー用充電クレードル	CRD-TCVT-1D1B/CRD-TCVTB-1D1B	あり	あり	なし	なし
1スロットのデバイスと予備バッテリー用Ethernet充電クレードル	CRD-TCVT-1D1BE/CRD-TCVTB-1D1BE	あり	あり	あり	あり
デュアルスロット充電専用クレードル	CRD-TCVTB-2D/CRD-TCVT-2D	あり	なし	なし	なし

表5 充電および通信 (Continued)

説明	部品番号	充電中		通信	
		バッテリ(デバイス内)	予備バッテリ	USB	Ethernet
4スロットバッテリ充電器	SAC-TCVT-4B	なし	あり	なし	なし
5スロット充電クレードル	CRD-TCVT-5D/CRD-TCVTB-5D	あり	なし	なし	なし
5スロットEthernet充電クレードル	CRD-TCVT-5DE/CRD-TCVTB-5DE	あり	なし	あり	あり
5スロットのデバイスと予備バッテリ用充電クレードル	CRD-TCVT-5D5B/CRD-TCVTB-5D5B	あり	あり	なし	なし
10スロット充電専用クレードル	CRD-TCVT-10D/CRD-TCVTB-10D	あり	なし	なし	なし

1スロット充電クレードル

このセクションでは、1スロット充電クレードルについて説明します。

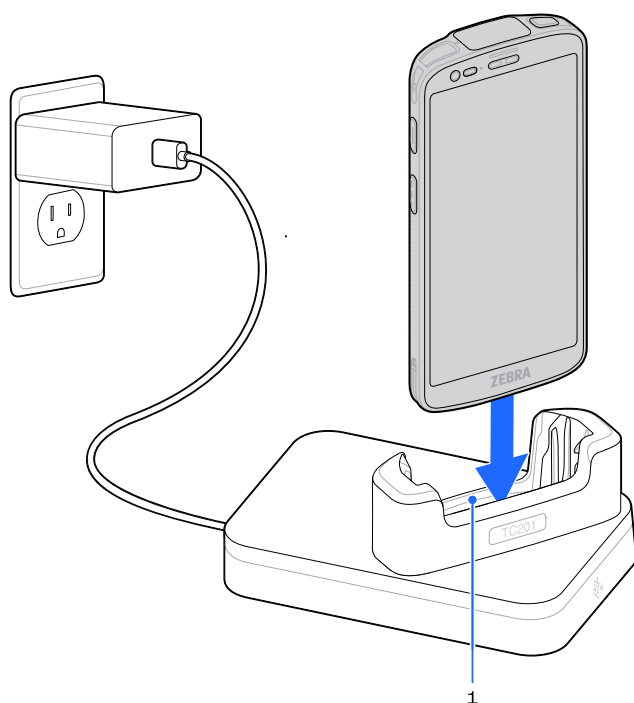


注意: 『TC201製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。



注意: 「[バッテリの安全に関するガイドライン](#)」に記載されている、バッテリの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図4 1スロット充電クレードル



1	デバイススロット
---	----------



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

1スロットEthernet充電クレードル

このセクションでは、1スロットEthernet充電クレードルについて説明します。

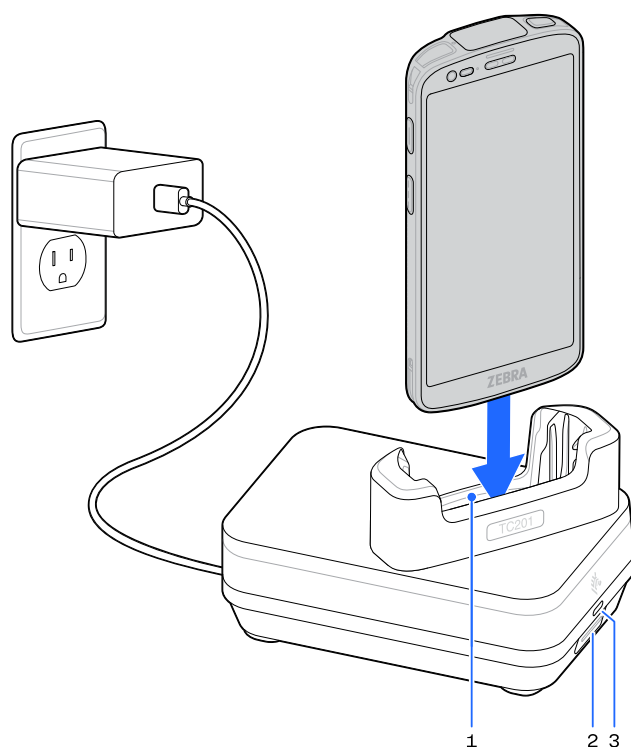


注意: 『TC201製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。



注意: 「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図5 1スロットEthernet充電クレードル



1	デバイススロット
2	クレードルカップリリースボタン
3	電源LED



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

1スロットのデバイスと予備バッテリー用充電クレードル

このセクションでは、1スロットのデバイスと予備バッテリー用充電クレードルについて説明します。

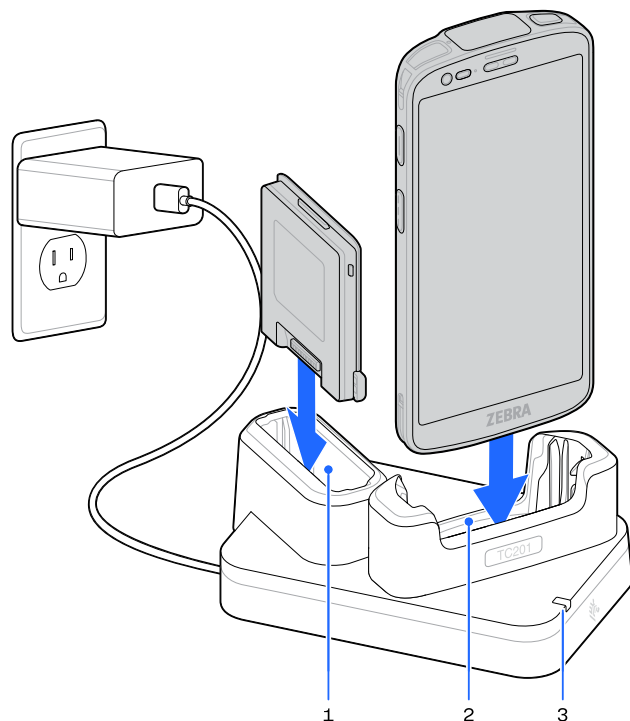


注意: 『TC201製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。



注意: 「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図6 1スロットのデバイスと予備バッテリー用充電クレードル



1	予備バッテリースロット
2	デバイススロット
3	予備バッテリー充電LED



注: デバイスとバッテリーをスロットに正しく挿入して充電します。

1スロットのデバイスと予備バッテリー用Ethernet充電クレードル

このセクションでは、1スロットのデバイスと予備バッテリー用Ethernet充電クレードルについて説明します。

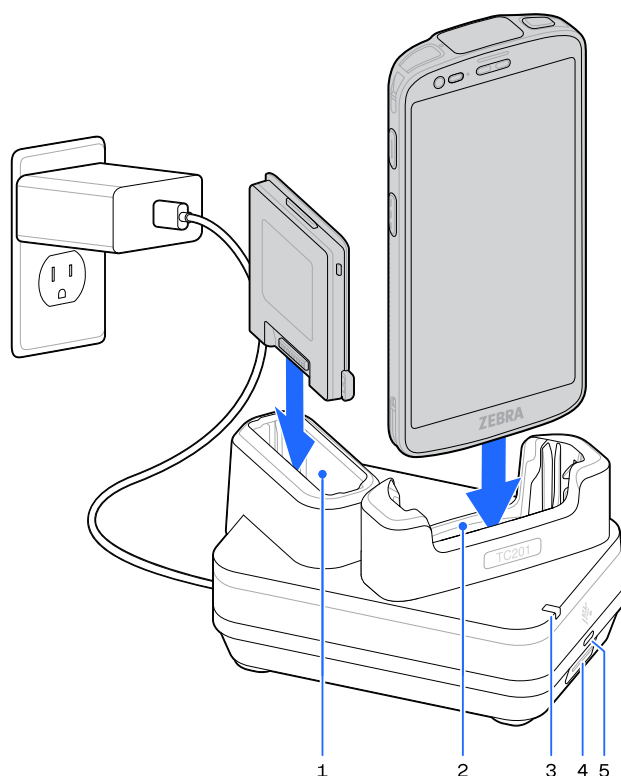


注意: 『TC201製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。



注意: 「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図7 1スロットのデバイスと予備バッテリー用Ethernet充電クレードル



1	予備バッテリースロット
2	デバイススロット
3	予備バッテリー充電LED
4	クレードルカップリリースボタン
5	電源LED



注: デバイスとバッテリーをスロットに正しく挿入して充電します。

デュアルスロット充電専用クレードル

このセクションでは、デュアルスロット充電専用クレードルについて説明します。

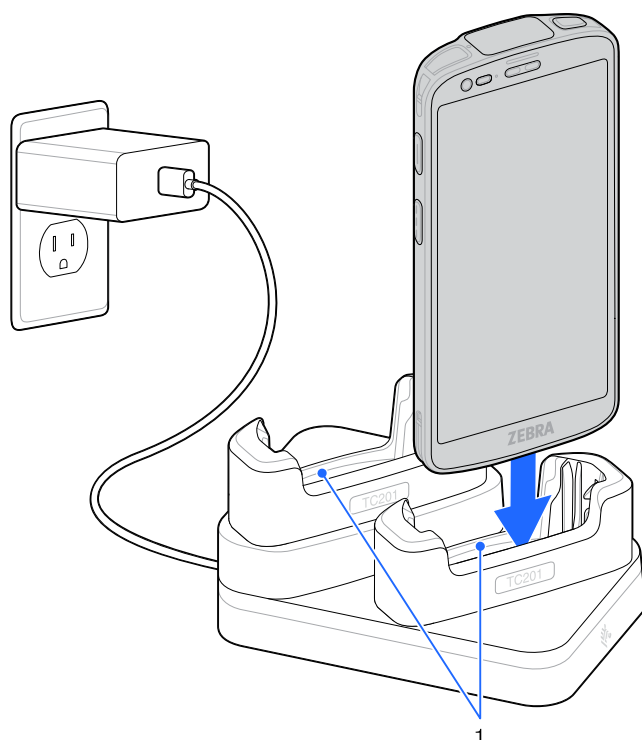


注意: 『TC201製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。



注意: 「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図8 デュアルスロット充電専用クレードル



1	デバイススロット
---	----------



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

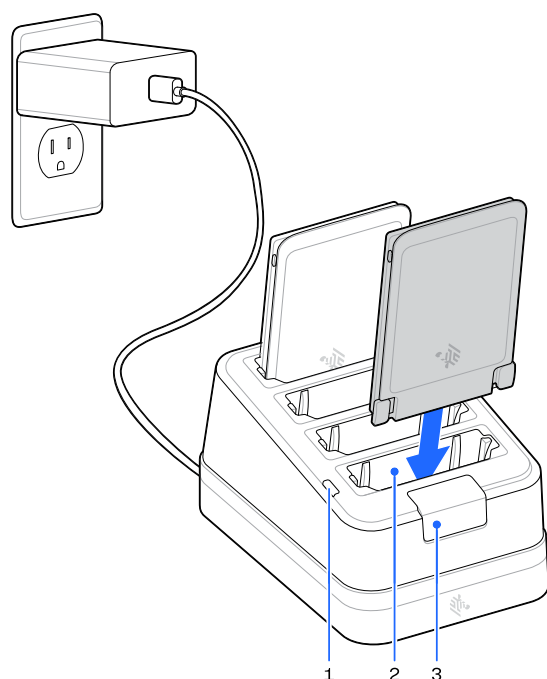
4スロットバッテリー充電器

ここでは、4スロットバッテリー充電器を使用して最大4台のデバイスのバッテリーを充電する方法について説明します。



注意: 『TC201製品リファレンスガイド』の「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図9 4スロットバッテリー充電器



1	バッテリー充電LED
2	バッテリースロット
3	ファームウェアの更新ポート



注: スロットにバッテリーを正しく挿入して充電します。

5スロット充電クレードル

このセクションでは、5スロット充電クレードルについて説明します。

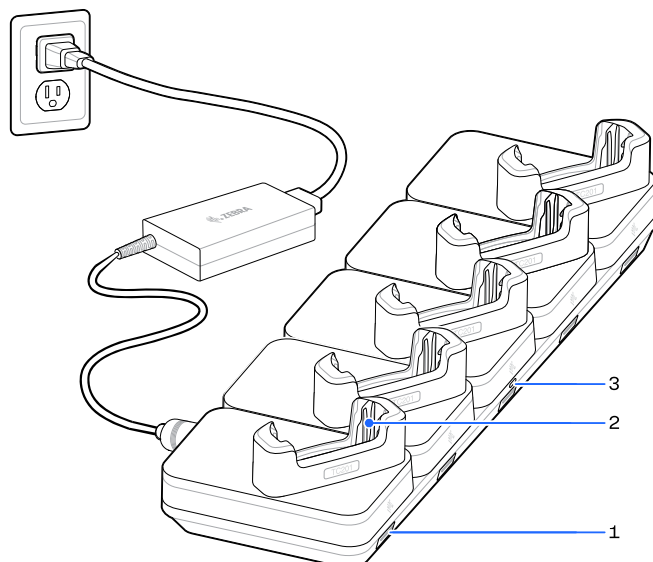


注意: 『TC201製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。



注意: 「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図10 5スロット充電クレードル



1	クレードルカップリリースボタン
2	デバイススロット
3	電源LED



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

5スロットEthernet充電クレードル

このセクションでは、5スロットEthernet充電クレードルについて説明します。

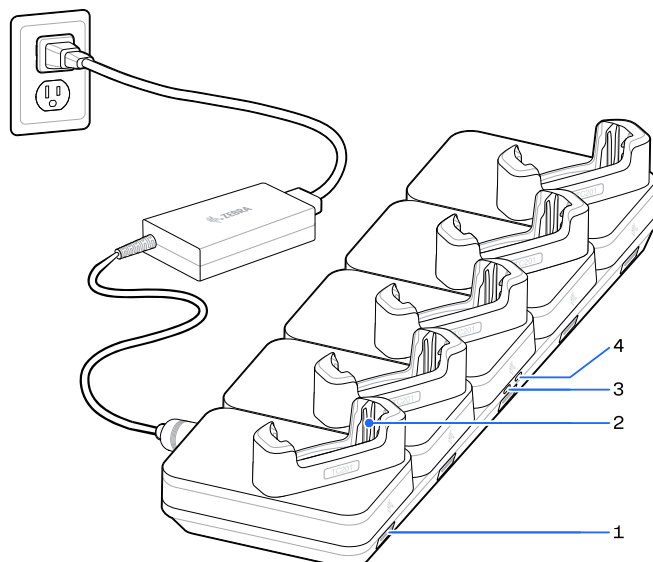


注意: 『TC201製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。



注意: 「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図 11 5スロットEthernet充電クレードル



1	クレードルカップリリースボタン
2	デバイススロット
3	電源LED
4	Ethernetリンク



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

5スロットのデバイスと予備バッテリー用充電クレードル

このセクションでは、5スロットのデバイスと予備バッテリー用充電クレードルについて説明します。

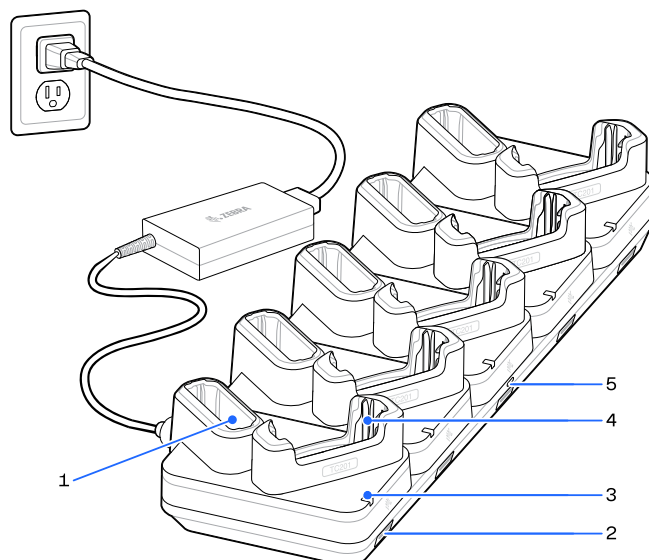


注意: 『TC201製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。



注意: 「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図12 5スロットのデバイスと予備バッテリー用充電クレードル



1	予備バッテリースロット
2	クレードルカップリリースボタン
3	予備バッテリー充電LED
4	デバイススロット
5	Ethernetリンク



注: デバイスとバッテリーをスロットに正しく挿入して充電します。

10スロット充電専用クレードル

このセクションでは、10スロット充電専用クレードルについて説明します。

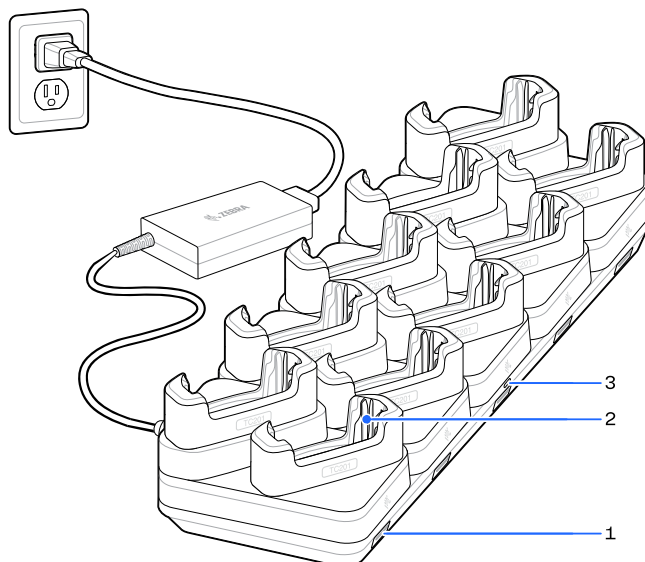


注意: 『TC201製品リファレンスガイド』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。



注意: 「[バッテリーの安全に関するガイドライン](#)」に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに必ず従ってください。

図13 10スロット充電専用クレードル



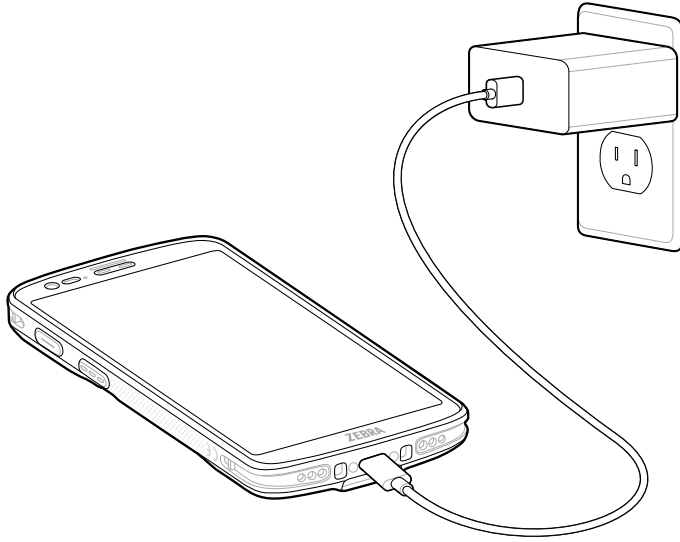
1	クレードルカップリリースボタン
2	デバイススロット
3	電源LED



注: スロットにデバイスを正しく挿入して充電します。

充電／USB-Cケーブル

充電／USB-Cケーブルは、デバイスのバッテリーを充電し、デバイスとホストコンピュータ間でデータを転送するために使用されます。



警告: デバイスに「Liquid or debris in USB port (USBポート内に液体またはゴミがある)」という通知が表示された場合は、USB-Cケーブルをただちに外し、デバイスを充電しないようにしてください。問題の解決方法については、「[デバイスのトラブルシューティング](#)」を参照してください。『TC201製品リファレンスガイド』の「デバイスのトラブルシューティング」セクションを参照してください。

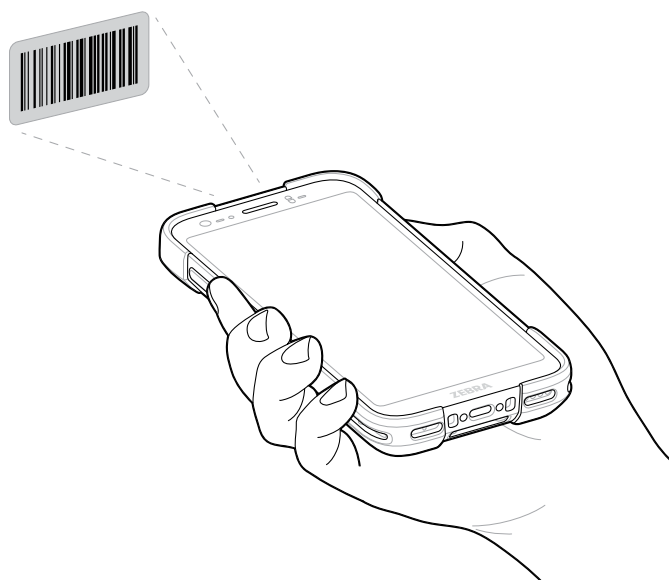
デバイスによるスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。このデバイスには、ユーザーがイメージャでバーコードデータを読み取ったり、バーコードコンテンツを表示したりできる、DataWedgeアプリケーションが含まれています。



注: AC670イメージャには緑色のダッシュドットダッシュ照準が表示されます。SR500 および SR560 イメージャには赤色の照準が表示されます。

1. アプリケーションがデバイスで開かれていることと、テキストフィールドがフォーカスされている（テキストカーソルがテキストフィールドにある）ことを確認します。
2. 本デバイスの上部にある読取窓をバーコードに向けます。



3. スキャンボタンを長押しします。

照準を合わせやすくするために、SR500 および SR560 イメージャでは赤色の LED 照準パターンと赤色の照準ドットがオンになり、AC670 イメージャでは緑色の LED 照準パターンと緑色のダッシュドットダッシュがオンになります。



注: デバイスがピックリスト モードの場合、照準ドットがバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

4. 照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で可視性を向上するために使用されます。

図 14 照準パターン

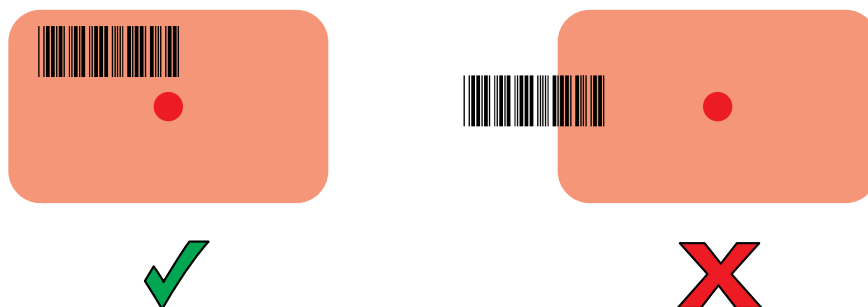
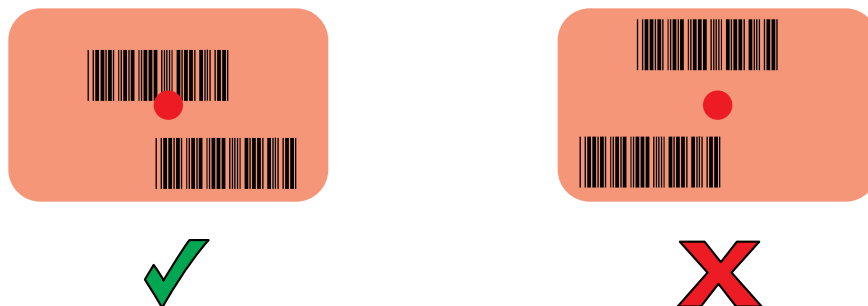


図 15 複数のバーコードが照準パターン内にあるピックリストモード



5. デフォルト設定の場合、データ収集LEDが緑色で点灯してピープ音が鳴り、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
6. スキャンボタンを放します。

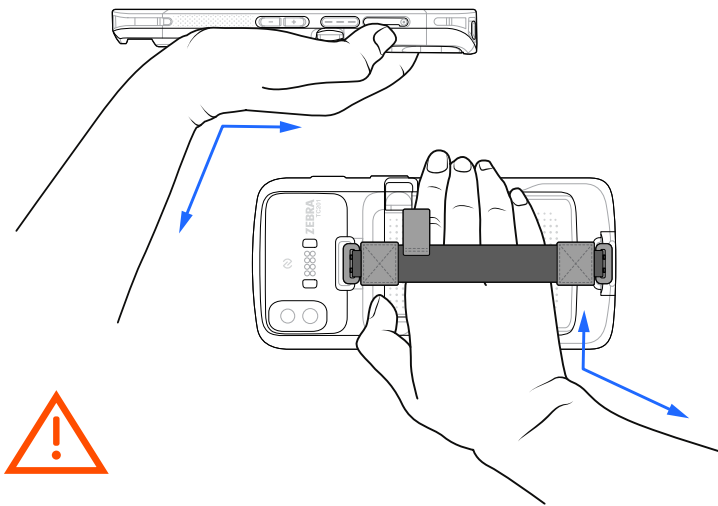


注: イメージャの読み取りは通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合、スキャンボタンを押し続けると、デバイスがデジタル写真（画像）を撮影する手順を繰り返します。

7. バーコードコンテンツデータが、テキストフィールドに表示されます。

人間工学に基づいた考慮事項

デバイスを使用する際は、手首を極端に曲げないでください。



サービスに関する情報

ご使用の装置に問題がある場合は、最寄りのZebraグローバルカスタマーサポートにお問い合わせください。

お問い合わせ先は、zebra.com/supportに記載されています。サポートにお問い合わせの際は、次の情報をご用意ください。

- ・ ユニットのシリアル番号
- ・ モデル番号または製品名
- ・ ソフトウェア/ファームウェアのタイプまたはバージョン番号

Zebraが、サービス契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。

問題がZebraカスタマーサポートによって解決できない場合は、修理のためにご使用の機器をご返送いただく必要がある場合があります。サポートから具体的な手順をお伝えします。承認された発送用段ボール箱が使用されていない場合、Zebraは輸送中に発生した損傷に対して一切責任を負いません。製品の輸送が不適切な場合、保証が無効になる可能性があります。

Zebraのビジネスパートナーから購入されたZebra製品については、サポートについて担当のビジネスパートナーにお問い合わせください。

